

フィンランド語文法：入門① フィンランド語の特徴

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



フィンランド語の特徴（1）

- 主語により動詞の形が変化する。

puhu**a** 「話す」

puhu**n** 「私が話す」

puhu**mme** 「私たちが話す」

puhu**t** 「君が話す」

puhu**tte** 「君たちが話す」

puhu**u** 「彼/彼女が話す」

puhu**vat** 「彼らが話す」



練習（1）－動詞の変化（1）

- 動詞の変化は3回目あたりの授業でやります。でも一つ練習してみましよう。前のページのpuhuaと同じように、asua「住む」という動詞を6つの形に変化させてみてください。



練習（１）－動詞の変化（２）

●puhuaの変化を参考に、asua「住む」を変化させる。

puhua「話す」

puhun「私が話す」

puhumme「私たちが話す」

puhut「君が話す」

puhutte「君たちが話す」

puhuu「彼/彼女が話す」

puhuvat「彼らが話す」



練習（1）一答え

● asu**a** 「住む」の6つの形

asu**n** 「私が住む」

asu**t** 「君が住む」

asu**u** 「彼/彼女が住む」

asu**mme** 「私たちが住む」

asu**tte** 「君たちが住む」

asu**vat** 「彼らが住む」



フィンランド語の特徴 (2)

●名詞が変化する。

juna 「電車」

juna**n** 「電車の」

juna**a** 「電車を」

juna**t** 「電車（複数）」

juna**ssa** 「電車の中で」

juna**sta** 「電車の中から」

juna**an** 「電車の中へ」



練習（2）－名詞の変化（1）

- 名詞の変化は4回目以降の授業で少しずつ勉強強めます。でも一つ練習してみましよう。前のページのjunaと同じように、kahvila「カフェ」という名詞を6つの形に変化させてみてください。



練習（2）一名詞の変化（2）

- juna の変化を参考に kahvila 「カフェ」を変化させる。

juna 「電車」

junan 「電車の」

juna a 「電車を」

juna t 「電車（複数）」

juna ssa 「電車の中で」

juna sta 「電車の中から」

juna an 「電車の中へ」



練習 (2) 一答え

● kahvila 「カフェ」

kahvilan 「カフェの」

kahvilaan 「カフェを」

kahvilat 「カフェ (複数)」

kahvilassa 「カフェの中で」

kahvilasta 「カフェの中から」

kahvilaan 「カフェの中へ」



フィンランド語の特徴 (3)

- 動詞の変化に伴い面倒な音の変化がある。

lukea 「読む」

luen 「私が読む」

luet 「君が読む」

lukee 「彼/彼女が読む」

luemme 「私たちが読む」

luette 「君たちが読む」

lukevat 「彼らが読む」

*もともとある「k」がなくなる場合がある。

*10回目の授業で勉強します。



フィンランド語の特徴（4）

- 名詞の変化に伴い面倒な音の変化がある。

pa**t**a 「鍋」

pa**d**an 「鍋の」

pa**t**aa 「鍋を」

pa**d**at 「鍋（複数）」

pa**d**assa 「鍋の中で／に」

pa**d**asta 「鍋の中から」

pa**t**aan 「鍋の中へ」

*もともとの「t」が「d」になる場合がある。

*9回目の授業で勉強します。



フィンランド語の特徴 (5)

●発音がやさしい（いわゆる「ローマ字読み」）。

Suomi	[スオミ]	「フィンランド」
Norja	[ノルヤ]	「ノルウェー」
Tanska	[タンスカ]	「デンマーク」
Islanti	[イスランティ]	「アイスランド」
Ruotsi	[ルオッツィ]	「スウェーデン」
Japani	[ヤパニ]	「日本」

(②はここで終わりです。)

